



山田美津代 議員

PTA会長達の町長訪問内容は何？

問 11月22日共産党議員団が町長に中学校給食の申し入れをした折り、町長は「先日8名の会長が面会に来られ、うち7名が中学校給食反対の話をされて帰られました」と話されました。事実ですか。詳しく教えてください。また、PTAの会長としての話でしたか。

平岡町長 そのように言われました。また、運動が過激化されている現状を指摘され、生徒・先生の意見、保護者の意見を取り入れ、中学校給食のあり方を慎重に議論を重ねて、町として最良の結論を出すことが必要。子どもには弁当を持たせたいと言われた。

給食懇話会を公募して実施委員会に！

問 保護者の間に中学校給食実現の要望が広まっている中、委員には反対を表明しているPTA会長や教育委員ばかりで構成するのではなく公募で、多くの町民の声が反映できる

委員会にすべき。また、中学校給食懇話会を中学校給食実施検討委員会にかえて真剣に実施に向けて検討すべき。

平岡町長 中学校給食懇話会は、教育委員会。食生活・食育を考える会議は町長部局でそれぞれ会議を重ね、町としての望ましい方向性を示していただく。8日に第1回の会議を開いた。委員の選任はPTA会長、有識者を交え、十分町民の声が反映いただける。

子宮頸がん・ヒブワクチン等の補助継続を

問 子宮頸がん、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの補助制度が平成24年3月末で打ち切られる。国や県に補助継続を働きかけ、また町として、宝の子ども達を守るため、独自の補助制度を検討すべきでは。4,000万円あれば継続できる。町長は5億円の黒字の町ですと自慢しているのだから、子ども達のために使うべき。

平岡町長 町としても継続したく奈良県町村会を通じて、県から国へ働きかけるよう要望を行っている。県に対しても国の補助が打ち切られたとしても、県で補助制度を創設し、市町村負担を軽減されるよう要望を行っている。



吉田信弘 議員

平岡町長が強く要請した業者とは 第2弾

問 今年の6月議会に続き、この問題を取り上げます。一般廃棄物収集運搬業の新規許可申請を不許可にされた業者が平岡町長を訴えている事件である。町は許可業者15業者と確定しているのではないとのことですが、この中に廃棄物の搬入のない業者は何社ですか。また、一般廃棄物処理基本計画を提出してください。

平岡町長 原告が、陳述書において一方的に述べておられ、全面的に裁判で争っているところです。搬入実績のない業者は1社だけ。規模を縮小した事業所もあります。基本計画書については閲覧してください。

イズミヤからのバス購入代金は 第2弾

問 この件も6月議会に続き、ご質問します。今年の4月26日の議員懇談会で、山村副町長からイズミヤとの初期の交渉では、バス運行にあって、イズミヤの担当者から

500万円程度なら出せると説明を受けました。バス代としての入金はありましたか。南郷8号線を含むイズミヤからの負担金は全部でいくらか。

平岡町長 以前から議会で説明をしていますが、協定に基づき支援策が実現していませんので入金はありません。協定書に基づき合計1億8,788万3,877円を寄付金として収入しています。

旧清掃センター周辺の土地の売却

問 当初、平岡町長は、10億円で売れると自信を持って言っておられました。しかし、結果は売れませんでした。そこで1億円値下げして、9億円では売れると言っておられましたが売れたのですか。まだであれば議会と協議が必要と思われませんか。どのような対応をされるのですか。

平岡町長 9億円の入札希望価格は、議会と協議のうえ決定したものです。今回の条件で意向を示す業者がある時は、引き続き交渉を進めます。しばらくの間、状況を見て最終的に売却できない時は、議会と協議します。